

令和8年度 西江地区福祉活動計画

重点課題

地域住民と子どもたちのふれあう機会が少ない

事業名

子どもを通じ地域とのふれあい活動

地域の課題（背景）

- ・行事では地域住民と子どもたちとの交流はあるが、普段の生活では十分な交流がない。
- ・子どもの数が減少し、地域住民との交流の場の減少している。
- ・地域住民と子どもの顔見知りを増やし、安心して暮らせる地域をつくる。

推進方法（地域でできることをより具体的に記入）

- ・当面 年末夜警の実施 12月26日～28日

自助(自分でできること)

- ・積極的な案内などにより、参加者の増加を図る。

公助（行政や社協に依頼すること）

- ・海津小学校に西江地区の児童に、案内チラシの交付。

令和8年度 西江地区福祉活動計画

重 点 課 題

広域サロンの認知度を高め、イベント参加者を募る

事業名

西江地区ふれあいいきいきサロン事業

地域の課題（背景）

- ・ひとり暮らし高齢者や日中ひとりだけになる方の地域交流する場が少ない。
- ・地域住民の西江地区社協への関心が低い。
- ・サロン部会の活動の徹底と部会員の協力。

推進方法（地域でできることをより具体的に記入）

○西江地区ふれあいいきいきサロンの開催

- ・自治会単位で開催しているサロンに働きかけ、計画の充実を図る。
- ・サロンの内容を参加者が楽しめるよう検討していく。
- ・広域サロン部会員として自覚を持ち、協力意識を向上させる。
- ・福祉推進委員の協力を得て、各自治会の高齢者へサロンの周知を行う。

自助(自分でできること)

- ・参加者が楽しめる内容を考える。
- ・サロン部会会員を中心に、ご近所でサロンの呼びかけを行う。

公助（行政や社協に依頼すること）

令和8年度 西江地区福祉活動計画

重 点 課 題

地域での三世代交流機会の減少

事業名

三世代交流推進事業

地域の課題（背景）

- ・ 地域での世代間交流の機会の減少。
- ・ 核家族化が進み、子どもたちと高齢者が接する機会の減少。

推進方法（地域でできることをより具体的に記入）

○さつま芋の苗植え・収穫体験の実施

- ・ 地域住民の畑を借り、子どもたちと地域住民の交流を深める目的で実施する。
- ・ 5月に苗植え、10月に収穫体験を行う。草取りや水やりも育成会、部会員が協力して行う。
- ・ こども会を脱退した自治会が増えたため、今後の事業内容について検討していく。
- ・ 収穫後はみんなで分けあい、余った芋については市社協に一部寄付をする。

自助(自分でできること)

- ・ 事業への積極的な参加、呼びかけ。

公助（行政や社協に依頼すること）